

## 鋼材加工の生産性と環境性能の両立を実現 3次元ファイバーレーザー加工機 「FG-400 NEO」

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎高嗣、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、ファイバーレーザー発振器を搭載した3次元レーザー加工機「FG-400 NEO」の販売を開始します。

FGシリーズは、建設資材や農業機械などに使われる鋼材の高精度・高効率加工を実現する3次元レーザー加工機です。3次元ヘッド搭載により、鋼管(パイプ材)以外にH形鋼・溝形鋼などの加工も可能であり、鋼材の加工分野における生産性向上に貢献しています。

今回発表する「FG-400 NEO」は、大径長尺のパイプ・形鋼向け3次元ファイバーレーザー加工機です。エネルギー変換効率の高いファイバーレーザー発振器の搭載により、高速加工を実現するとともに、アルミ・真鍮・銅などの高反射材の容易な切断を可能としています。さらにFG-400 NEOは、ビーム径とビーム形状をコントロールする独自機能を搭載。この2つの機能を組み合わせることにより、薄板から厚板までさまざまな板厚の高効率加工が可能となります。

当社は環境問題を重要な経営課題のひとつと位置付け、お客様の生産現場における脱炭素化に貢献する製品開発を進めています。FG-400 NEOは、ファイバーレーザー発振器の特長である高いエネルギー変換効率により従来機と比較して消費電力を4割削減。また、レーザーガス消費量をゼロとしています。

今後も当社は、製品の性能向上と環境負荷低減を追求し、持続可能なものづくりへ貢献していきます。



3次元ファイバーレーザー加工機「FG-400 NEO」 外観

※一部オプション仕様を含む

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。  
予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください